

厚真福祉会だより

第61号
平成29年4月

発行 社会福祉法人
北海道厚真福祉会
責任者 理事長 岩筋 雅弘
〒059-1605
勇払郡厚真町字本郷36-11
TEL (0145) 27-3111
FAX (0145) 27-3760



節分・厄払い

二月三日(金)、節分・厄払い行事を行いました。

厚真神社宮司様による厄払いを受けた利用者様は、口々に厄を払ってもらえてとても良かったと話されていました。

他の利用者様も、今年一年が安心して過ごせる様に思いをこめ玉串を奉奠していました。その後は厳かな雰囲気から一転、西年生まれの利用者様を中心に「鬼は外、福は内」と元気よく豆まきをしました。

会場では参加された皆様、笑顔で豆拾いを楽しみました。



事業計画

北海道厚真福祉会の運営に関わりのある福祉の昨今の動向は、福祉サービスの対象者を特定しない福祉の普遍化の一層の進行、高齢者世帯、低所得世帯の増加や福祉制度の狭間に置かれた人々の増加などから生じている課題に対し、国は公的制度が不十分である取組みや民間事業者が取組まない分野を社会福祉法人が積極的に取組むことを期待して社会福祉法人制度発足以来最大となる改革を進めております。

また、介護保険制度や障がい者の福祉サービスに関しては、持続可能な制度とするための改革、団塊世代の介護に関する二〇二五年問題、「介護離職ゼロ」への仕事と介護の両立、障がい者や高齢者に対する良質なサービス等の確保、障がい者等の社会参加の機会の確保などの施策を推進することとしております。

北海道厚真福祉会は、これら福祉の現状や将来への展望を踏まえて、この四月一日から評議員や理事、監事による管理体制や権限、責任の強化、地域における公益的な取組みの一層の促進などの社会福祉法人制度改革に適切に取り組んでいきます。

また、施設や在宅で生活されている利用者が「安全で、安心して、楽しく生活できる施設・事業所」を目指して社会福祉事業を適切に推進していきます。

利用者にサービスを行なう職員的生活に安心や安定をもたらす取組みを強めていきます。

更には、厚真町民に対し地域社会の福祉の拠点としての役割を果たすための活動を深め、福祉を通じて地域社会に貢献する法人を目指していきます。

なお、具体的には次の計画を基本にして事業を推進していきます。

経営理念

社会福祉法人北海道厚真福祉会は、利用者の自己選択と決定を尊重し、個人の尊厳（個人の人格・人としての権利）に配慮した良質かつ安全・安心なサービスを提供する社会福祉事業の経営に努めます。

経営の基本

一 利用者の自立支援

利用者一人ひとりの尊厳を尊重し、「利用者や家族が希望するサービス」を個々人の障がいの特性や要介護度に応じて個別支援計画、サービス計画を策定し、これを基本にした専門的な支援を行い、利用者が安全で安心して楽しく生活が出来る施設・事業運営を目指します。

二 健全経営の実現

法人の主体性と自立を高め、法令を遵守し、社会福祉事業の主たる担い手にふさわしい法人・事業の適正な運営に努めます。
また、事業・予算の重点化、効率化、収入の確保を進め、安定し

た経営や活力のある経営を目指します。

三 職場環境の充実

北海道厚真福祉会・社会福祉施設・職員が果たすべき役割についての認識を高め、必要な職員の配置及び職員の専門的な知識や技術の向上、職員待遇の向上に努め、誇りを持って働くことができる、また、魅力がある職場環境創りを目指します。

四 地域社会への貢献

利用者や家族、厚真町民などに對して、身近にある福祉サービスの要の役割を果たし、地域にとって必要不可欠な存在となる活動を目指します。

重点目標

一 事務局 総務課

- ① 社会福祉法人制度改革の適切な取組みの推進
 - ② 法令を遵守した運営、効率的、効果的な法人・施設運営の推進
 - ③ 法人・施設運営に関する情報の閲覧、公表の推進
 - ④ 地域における公益的な取組みの推進
 - ⑤ 人材育成のための研修等の実施
 - ⑥ 職員処遇の改善
 - ⑦ 予算の適正な執行ほか
- ### 二 事務局 事業運営課
- ① 個別支援計画・介護サービスの計画の作成、指導
 - ② 各種委員会の運営に関する指導

三 事務局 相談室

- ③ 地域の諸団体（ボランティア等）との連携、ほか
- ・生活上の支援を求めている方々への相談、解決支援

四 各種委員会

- ① 事故防止委員会
 - ・事故（転倒、転落、誤薬等）防止対策の実施
- ② 感染症対策委員会
 - ・インフルエンザ、ノロウイルス等の感染予防、蔓延防止対策の実施
- ③ 防災対策委員会
 - ・避難、消火、その他必要な訓練等の実施
- ④ 苦情解決委員会
 - ・利用者、家族等からの苦情、相談への対応
- ⑤ 権利擁護・虐待防止委員会
 - ・権利擁護対策や虐待防止対策の実施
- ⑥ 給食運営委員会
 - ・行事食や季節感に富んだ食事の提供
- ⑦ 特別委員会
 - ・法人行事（運動会、夏まつり、研修、地域公益活動等）の実施
- ⑧ 広報委員会
 - ・厚真福祉会だよりの発行
- ⑨ 衛生委員会
 - ・職員の安全と健康の確保

豊厚園お茶会



三月十五日(水)、豊厚園は三月の行事「お茶会」を行いました。お茶会では利用者様に職員が作った巨大プリンを紅茶やコーヒートともに提供しました。食堂に来ると大きいプリンを見て驚く利用者様、食べて美味しいと喜ばれる利用者様などさまざまでした。

二十九年度も毎月いろいろな行事を企画し利用者様に楽しみや喜びが溢れる行事をしていきたいと思えます。

避難訓練



自然災害「地震」を想定した避難訓練を三月八日(水)に実施しました。

訓練では、緊急地震速報の通知が入ったことを想定し、全館放送で注意を呼びかけ、職員は強い地震に備えて利用者と同会者の誘導や見守りを確認しました。

その後、地震発生後の館内の設備や破損箇所を点検、確認し、倒壊の恐れを想定し、実際の非常ベルと全館放送で避難訓練を実施しました。

「自然災害」では実際に何が起こるか想定出来ないため、常に災害への心構えを忘れずに日頃から訓練に務めています。

新任紹介

【厚真リハビリセンター】



生活支援員
原田 涼平

利用者様が毎日安全に生活できるようサポートしていき、一人一人の個性を理解し、ニーズに沿いながら支援できるよう頑張ります。



生活支援員
黒木 麻生

先輩方に頼られ利用者様に頼られる介護士になりたいです。



介護士
佐藤 梨絵

利用者様に笑顔で楽しい時間を過ごしていただけるよう努めます。

【厚南デイサービスセンター】

今年の主な行事予定

- 四月 辞令交付式
 - 五月 新任職員研修
総合避難訓練
外出ドライブ
温泉旅行
 - 六月 老人クラブ演芸会
評議員会・理事会
運動会
 - 七月一日 法人認可記念日
 - 八月一日 理事会・評議員会
夏まつり
 - 九月九日 納涼のつどい
 - 九月二十日 合同法要
 - 敬老会
 - 十月 夜間召集・避難訓練
外出ドライブ
 - 十一月 温泉旅行
 - 十二月 もちつき
クリスマス会
 - 一月 理事会・評議員会
初詣・新年会
 - 二月三日 節分・厄払い
 - 三月 避難訓練
理事会
- ※都合により変更する場合があります。

北海道厚真福祉社会 地域公益活動事業

事業概要・目的

・北海道厚真福祉社会のサービスを利用して
いる人やその家族、障害者世帯や高齢者世帯の生活を支援します。

・この事業は無料です。困ったことがありましたら、ご相談ください。

事業の具体例

- ① 大型家具・荷物の整理や廃棄等
- ② 除雪、排雪や雑草刈り
- ③ 簡単なリハビリや介護方法の助言、指導
- ④ 簡単な書類の作成や届け出
- ⑤ その他



人事異動

【豊厚園】

介護係長（相談員）

中島 巧

介護課主任（介護士）

久保 朋子

職員募集!

◆厚真リハビリセンター

◆豊厚園

介護職員

看護職員

若干名

若干名

◆あつまデイサービスセンター

◆厚南デイサービスセンター

介護職員

若干名

・未経験の方も歓迎します。

・勤務時間については、相談に応じます。

・履歴書（写真付）をご持参または郵送下さい。

※詳細については、ご連絡下さい。

電話 〇四五一二七三二二一

担当 亀山・三浦

寄付・寄贈

〈個人〉

遠藤 秀明 様

加勢 立美 様

加藤美津子 様

前川 カヨ 様

〈団体〉

厚真町商工会青年部 様

厚真町婦人団体協議会 様

沖繩 仁愛療護園 様

十二月二十六日から

三月三十一日現在

ご厚意ありがとうございます。

編集後記

日ごとに暖かさも増してすっかり春めいてきました。スズメも活発に活動し始めています。スズメは空の明るさにとっても敏感で、日の出の十分ほど前に目を覚ますそうです。天気の良い日は雲が少なく、夜明けが早くなります。早朝からスズメのさえずりがいつもより多く聞かれます。

日々暖かくなってきましたが油断して風邪などひかぬよう気を付けましょう。

